

「はい、坂井建設でございます」

「私、原田と申します。雑誌の求人を見てお電話をさせていたいただいたのですが、人事担当の須藤さんはいらつしやいますか？」

「須藤はただ今席を外しております。午後三時頃には戻る予定ですが」

「そうですか。では、三時頃に改めてお電話いたします。失礼いたします」

三時になると、原田は再び坂井建設に電話を入れた。

「はい、坂井建設でございます」

「私、本日午前中にお電話をいたしました原田と申します。人事担当の須藤さんはお戻りでしょうか？」

「はい、少々お待ちください」

保留のメロディがしばらく流れ、

「お待たせいたしました。須藤です」

「私、原田と申します。雑誌の求人を見てお電話させていただいたのですが、まだ募集はしていらつしやいますか？」

「はい、まだ募集しております。一般事務と営業、どちらをご希望ですか？」

「一般事務を希望しております」

「そうですか。では、最初に書類選考を行いますので、七月三十日までに履歴書をお送りください。書類選考で合格された場合には、後日こちらからご連絡いたします。不合格の場合には、履歴書はこちらで責任をもって処分させていただきますのでご了承ください」

「わかりました。それではすぐにお送りしますので、よろしくお願いいたします」
数日後、原田の家に坂井建設からの連絡が入った。

「はい、原田です」

「こちら、坂井建設人事部の須藤と申しますが、弘美さんをお願いします」

「はい、私ですが・・・」

「先日、原田さんの方から履歴書をお送りいただきまして、厳重な書類選考を行った結果、合格となりました。つきましては、後日面接試験を行いたいと思います。当社の面接日程としては、来週九日と十日の二日間の予定です。その両日のいずれかであれば、原田さんのご希望の日で構いませんが」

「そうですか。それでは九日にお願ひできますか？」

「わかりました。では九日に面接の予定を入れておきますので、当日は午後三時までに三階の会議室の方においでください。その日、面接試験を受ける人は原田さんの他にも何人かいらつしやいますので、面接の順番を待つ間、一般常識と作文の試験を行います」

「はい、わかりました。それから御社の場所なんですけど、駅から歩いて五分とお聞きしているのですが、詳しい道順が分からないので教えていただきたいのですが」
原田は、駅から会社までの道順を聞き、手帳にメモを取った。